

第5学年 総合的な学習の時間（かけはしタイム） 指導案

日 時 令和5年6月16日（金）

子ども 5年田村学級 30名

指導者 田村 隼

I 単元名

防災のための安全な町づくりとその取組に携わる人々

～仁王小学区安心安全防災マッププロジェクト～

〈授業の見どころ〉

これまでに調べてきた情報を関連させることで、災害は自分たちの周りでも起こり得るものだと考え、防災について自分事として考えをもたせていきます。

II 単元の指導構想

1 単元について

- 子どもたちは、総合的な学習の時間において、東日本大震災の被災状況や当時の人々の思いや復興に対する思い、防災に対する考え方について探究活動を行ってきた。子どもたちは、かけはしタイムの時間を楽しみにしており、課題に向かって友達と協力しながら活動する姿が見られる。しかし、多くの情報の中から、自分の目的に合う情報はどれなのか、どのように情報を関連付けさせられそうなのか等といった情報を整理・分析していく力、相手を意識してまとめの表現をする力はまだ十分とは言えずさらに高めていく必要がある。

これまでの学習において、理科の「天気の変化」では数日分の雲の動きの様子と降水量の変化の様子を比較・関連させることで、春の天気は西から徐々に変化していくということに気付く姿が見られた。また、算数の「体積」の学習では、容積を求める際に入れ物の縦・横・高さの長さがどうなるのかを友達に必死に説明したり、それでも納得がいかないときには分かるまで質問したりと課題解決に向けて主体的に取り組む姿が見られた。これらの学びの文脈を生かし、今後は防災の大切さを地域に伝えていくために、自分たちが必要な資料を収集・整理したり、自分たちの思いが相手に伝わるようにグループで探究したりしていくような力を身に付けさせていく必要がある。

- 本単元では、探究活動を通して、東日本大震災での被災状況や人々の思いについて知り、そこから自分たちの地域の防災に目を向けていく。東日本大震災の時のような津波の被害は仁王小学校区では考えにくいですが、自然災害に関して地震はもちろん洪水の問題がある。学区の土地の状況を見ると、仁王小学校から盛岡駅方面に向かうと下り坂になっており、ハザードマップでは浸水深が学校付近では0.5m～3m未満の区域、駅方面に行くにつれて5m～10mとなっている。地域の諸調査を子どもたちと進めていく中で、地域の方に「防災」について何を伝えたいのか、それにはどのような伝え方が有効なのか、また被災地訪問などを通して学んだことをどう加えていくのか、思考を働かせながら活動していく。
- 指導に当たっては、次の二点に留意する。

一点目は、探究的学習を進める単元構成【手だて1】である。子どもたちは昨年度、地域のよさについて「中津川」を学習教材とし、中津川のよさについて学習してきた。その学習を関連させ、オリエンテーションでは「自然ってよいところだけなのかな？」と発問することで、子どもたちに自然災害や自然の恐ろしさに気付かせ、東日本大震災や岩泉の洪水等に目を向けてさせていく。これから先も震災のことを知らない人たちが増えていくことを伝えることで、「震災のことを調べて知らない人に伝えたい。」や「学区の防災はどうなっているのだろう。」という思いを抱かせ、探究的な学習を進めていく。学ぶ目的や相手意識、毎時間の振り返りを大切にしながら、子どもたちの思いを尊重し課題意識が連なるように学習を進めていく。

【手立て1「学びの文脈」のデザイン】

二点目は、目的を達成するための学習活動【手だて2】についてである。単位時間の終末では、まとめて終わらず、次時にどんなことを調べたいのか等を振り返らせながら、常に目的を意識させる。また情報収集や整理・分析の仕方等の方法を示したり、他教科で得た知識・技能を教師が把握し、子どもたちから必要感が生まれた時に適切に声をかけたりしていく。

【手立て2よりよく学ぶ3つの視点】

2 指導の構想（学びの文脈のデザイン）

単元の目標

東日本大震災の教訓や森林の働き，地域の防災にかかわる取り組みについて探究的な学習を通して，命を守るための方法や行動の仕方，地域の防災の取組について理解し，地域や学校の防災の在り方を見つめ考えるとともに，学んだことを生かし地域に発信しながら自らの生活や行動に生かそうとするようにする。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 様々な活動を通して，防災の内容や学区の防災にかかわる取り組みについて理解している。 ② インタビューや調べ活動等を目的や対象に応じた方法で実施している。 ③ 自分の命は自分で守るということや，それを発信していきたいという意識の高まりは，課題について探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	① 自分の関心及びかかわる人々の思いをもとに課題を設定し解決に向けての見通しをもっている。 ② 自然災害や防災の在り方について必要な情報を，調査する対象に応じた方法を選択しながら収集している。 ③ 課題の解決に向けて，観点に合わせて情報を整理し考えている。 ④ 活動を通して学んだ防災に関する内容について相手や目的に応じて分かりやすく表現している。	① 課題意識をもって自分なりの方法で工夫しながら，探究活動に進んで取り組もうとしている。 ② 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 ③ 地域とのかかわりの中で自分にできることを見付けようとしている。

復興教育との関連

○ いきる「⑤自分の成長」

地域の方々とのかかわりを通して，自分の生活が多くの人の支えで成り立っていることに気付く。

○ かかわる「⑩地域とのつながり」

幼児や高齢の人々，障がいのある人々等と一緒に生活している地域社会の人の思いを知り，地域への愛着をもつ。

○ そなえる「②学校・家庭・地域等での日頃の備え」

避難場所や避難方法等を調べ，学校や家庭，地域でできる防災対策を行う。

他教科・領域等

国語 5年6月「みんなが過ごしやすい町へ」
目的や意図に応じて，考えたことなどから書くことを選び，集めた材料を分類したり関係づけたりして，伝えたいことを明確にして書くことができる。

行事 5年「命を守る訓練」
・命と体を守るための行動と避難経路及び避難の方法を理解できるようにする。
・普段の生活の中にも命を守るための行動が様々なあることに目を向け，その意味について考えようとしている。

資質・能力の高まり

本単元

「防災のための安全な町づくりとその取組に携わる人々」【防災・復興】

東日本大震災の教訓や森林の働き，地域の防災にかかわる取り組みについて探究的な学習を通して，命を守るための方法や行動の仕方，地域の防災の取組について理解し，地域や学校の防災の在り方を見つめ考えるとともに，学んだことを生かし地域に発信しながら自らの生活や行動に生かそうとするようにする。

4年

「地域のよさ（中津川中心に）とそれを大切にしようとする人々」
【自然】

4年

地域の高齢者や障がいのある方々とその暮らしを支援する仕組みや人々
【福祉】

5年

岩手の自然環境やそれを守る人々
【環境】

6年

外国の人々とのかかわり
【国際理解・人権】

他教科・領域等

理科 5年5月「天気の変化」
・天気の変化の仕方について，観察などを行い，得られた結果をもとに考察し，表現するなどして問題解決することができる。

算数 5年5月「直方体や立方体の体積」
・体積の求め方について，主体的・対話的にねばり強く学習に取り組むとともに，学んだことを生活に生かそうとする。

見方・考え方を働かせるポイント

- **地域を安全の視点で捉えなおす**
普段歩いている道も危険があることや，自分たちの安全安心を守る施設や人々の存在に気づく。
- **各教科での学びを生かす**
各教科で身につけた考え方や表現方法を生かす。

願い

- ・東日本大震災では，どのような被災状況であり，人々はどんな思いだったのか知りたい。
- ・自分たちの身の回りでは，どんな防災の仕方があるのだろう。
- ・学んだことを地域の人に発信したい。

かけはしタイムの力

- 自分の調べたい課題に対して意欲的に情報を収集できる。
- 友達と関わりながら，学びを深めていくことができる。
- 自分の目的に合った情報収集・や整理分析をすることが難しい。
- 対象と自分の思いを合わせたまとめ方を工夫するのが難しい。

子どもの実態

3 指導計画（70時間のうち19時間）

単元	探究の過程	時	ねらい・学習活動	研究の手立て	知技	思判表	態度	
仁王小学区安心安全防災マッププロジェクト	課題設定	2	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の総合的な学習の時間の内容を振り返る。 ・自然には、素晴らしさだけではなく災害といった恐ろしい面があることを知る。 ・学習の目的を設定する。 ・学習計画を立てる。 	<p>【手だて1】 探究的学習を進める単元構成 震災のことや防災のことをきっかけに、自分たちにどんなことができるのか関心をもつ。</p>	①	①	①	
	災害の防災について学び、自分たちにできることを考えよう。							
	情報収集	3	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の新聞等の資料から、震災の被害状況や当時の人々の思いについて調べる。 ・調べたことを班で交流する。 ・陸前高田市への被災地訪問でさらに知りたいことを考える。 	<p>【手だて2】 目的を達成するための学習活動 ただ見て終わるのではなく、子どもの知りたいことに合わせて適宜助言する。</p>	②	②		
		6	<ul style="list-style-type: none"> ・陸前高田市への被災地訪問を行う。 ・震災遺構の見学や語り部さんの話から震災の被害状況や津波の恐ろしさ、命を守る行動について学ぶ。 		②	②		
	分析・整理	1	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を整理・分析する。 ・自分の心に残ったことや「伝えたい」と思ったことをまとめる。 			③	②	
	まとめ・表現	1	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地訪問で学んだことや心に残ったことを交流する。 ・友達の考えを聞いて自分の知識を増やす。 ・ここまでの学習をまとめ、次の活動を話し合う。 	<p>【手だて1】 探究的学習を進める単元構成 学んだことから、新たな課題を設定する。</p>			②	
	私たちの住む仁王学区は、本当に災害による命の危険性は少ないといえるのだろうか。							
	課題設定	1	<ul style="list-style-type: none"> ・陸前高田市や宮古市と自分たちの防災意識を比べる。 ・学習の目的を設定する。 ・次時に調べたいことをつくる。 				①	①
	情報収集	4	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市の防災マップから情報を集める。 ・水害に関して過去の事例を調べる。 ・仁王小学校の備蓄倉庫を調べる。 ・自助、公助、共助、近助について調べる。 	<p>【手だて1】 探究的学習を進める単元構成 調べたことを関連させ、自分には何ができるのか考えをもつ。</p>	①	②		
	整理・分析	1（本時）	<ul style="list-style-type: none"> ・仁王学区のハザードマップを見て、自分の家の場所等がどうなっているか調べる。 ・これまで調べてきた情報を関連させ、どんなことが自分にできるのか考える。 ・さらにどんなことを調べていきたいかを交流する。 			①		
仁王小学区安心安全防災マッププロジェクト	情報収集	10	<ul style="list-style-type: none"> ・水害から私たちの命を守るための施設について調べる ・地域方の防災に対する意識調査（アンケートやインタビュー等）をする。 ・学区調査をし、浸水地域について実際に行ってみる。 	<p>【手だて2】 目的を達成するための学習活動 国語で身に付けた書き方や算数で身に付けた表やグラフ等子どもが身に付けた知識・技能を示す。</p> <p>「森林の働き」についても並行・関連させながら学習する。（22時間）</p>	②	②		
	分析・整理	4	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートや意識調査、地域の方の考えや願いから発信する方法を考える。 ・どんな内容を発信していくかを考える。 			③	②	
	まとめ・表現	15	<ul style="list-style-type: none"> ・決めた発信の仕方について、大事なことは何か考える。 ・作成する。 ・地域の方に実際に伝える活動をする。 ・自分たちの活動を振り返る。 ・これまでの活動を振り返り、学んだことをまとめる。 		④	⑤	⑥	

1 目標

防災マップから分かったことやこれまでに情報収集してきたことから、自分たちに何ができるのか、これからどんなことを調査していきたいのかを考え、その解決に向けて見通しをもつことができる。

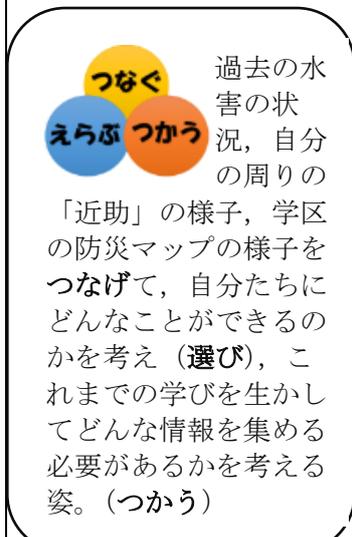
2 評価規準 【思考・判断・表現等】

これまで調べてきたことをもとに、身の回りに起こりうる災害を自分事として捉え、これからどんなことを調査していきたいのか考えようとしている。（発言・観察・ロイロノート・振り返り）

<努力を要する状況の児童への手立て>

災害による被害の資料に注目させたり、友達と考えを交流させたりしながら自分の考えを作れるようにしていく。

3 展開（19／70時）

段階	学習活動	時間	◆研究にかかわる手立て ○予想される子どもの姿	・留意点 【評価】
導入	1 本時の学習活動を確認する 2 課題を設定する	5	○いよいよ仁王学区のハザードマップを見て詳しいことを調べよう。	・前時の振り返りから、本時の学習につながるものを紹介し、課題を設定していく。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 防災マップから、どのようなことが分かるのだろうか。 </div>			
展開	3 防災マップから分かることをまとめる (1) 自分の家はどこにあるか確認する。 (2) 学級みんなの家の場所を防災マップにまとめる。 (3) 浸水区域が0.5m～3m未満の区域、5m～10m未満の区域に注目してみる。	15	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【手だて2】 目的を達成するための学習活動 ◆防災マップに印をつけていくことで、洪水時における自分たちの状況を可視化する。 </div> ○仁王学区の近くも浸水区域に該当してるよ。	・自分の家だけでなく、学級全体の様子を把握することで、より自分事として捉えさせる。 ・色の表している水位の高さについて具体的な例を出すことで、子どもたちに深さのイメージをもたせていく。
	4 これからの学習のテーマを設定する (1) 仁王学区の防災マップで分かったことと、前時までに調べてきたことを整理する。 (2) 整理したことをもとに、自分たちにどんなことができるのかを考える。 (3) これからどんなことを調べていきたくかを話し合い、出し合う。	15	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <p>過去の災害の状況, 自分の周りの「近助」の様子, 学区の防災マップの様子をつなげて, 自分たちにどんなことができるのかを考え(選ぶ), これまでの学びを生かしてどんな情報を集める必要があるかを考える姿。(つかう)</p> </div>	【思・判・表】 これまで調べてきたことをもとに、身の回りに起こりうる災害を自分事として捉え、これからどんなことを調査していきたくか考えようとしている。（発言・観察・ロイロノート） ・子どもたちから集めたい情報が一通り出た後は、グループで調べていくことを確認する。
終末	5 次時の見通しをもち、本時の学習を振り返る。	10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【手だて1】 探究的学習を進める単元構成 ◆次時の学習につながるような観点で振り返りを書かせる。 </div>	・本時の中で探究的に学びを進めている場面や身に付けた知識や技能を活用している場面があれば取り上げ、価値付けていき、総合の学習の時間の学び方を広げていく。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 期待する振り返り例 ・今日は、自分たちの住む地域のハザードマップを見て、自分の家の付近が危険な状況になるかもしれないということを知った。危険な状況になる前に、備えておくべき物を調べたり、地域の学区調査を行い危険な場所を調べたりしていきたい。 </div>			